

2022年4月6日
豊橋信用金庫
株式会社日本政策金融公庫
静岡岡支店

遠州地域の養豚事業者が地域初の生産方式を導入 ～豊橋信用金庫・日本政策金融公庫が協調支援～

豊橋信用金庫（略称：とよしん）と日本政策金融公庫静岡支店農林水産事業（略称：日本公庫）は、静岡県湖西市の有限会社松井畜産（代表：松井義輔）が遠州地域畜産クラスター事業において行う養豚の経営規模拡大事業（総事業費約14億円）に対して、協調した融資支援を行いましたので、お知らせいたします。

《ポイント》

○先進的な生産方式の導入で作業の省力化と疾病対策の高度化を実現

当社は、養豚業を営む法人で平成7年9月に設立されました。

今回の設備投資では、出荷頭数の増加と合わせて作業の省力化と疾病対策の高度化を並行して実現するための先進的な生産方式である「ウィーン・トゥ・フィニッシュ」を導入しました。当該生産方式の導入は県西部地域で初の試みであり、当社については地域のモデルとしての役割も期待されています。2026年度には出荷頭数1万頭超を目指しております。

○地域行政や民間金融機関と連携して支援

事業地は豚の飼養頭数が県内1位の湖西市にあります。事業実施にあたり、相談当初から当社・静岡県・湖西市・豊橋信用金庫・日本公庫が情報を共有し、「先進的な生産方式の導入」であること、「地域経済の発展に寄与」することなどを評価し、必要な設備資金及び運転資金を豊橋信用金庫と日本公庫が協調して融資しました。今後も日本公庫は、地域の関係機関と連携し、先進的な生産方式の導入を目指す意欲溢れる農業経営体の経営展開の支援に取り組めます。

＜お問い合わせ先＞

豊橋信用金庫 新所原支店

Tel：053-577-2221

（担当：村田、奥平）

日本政策金融公庫 静岡支店 農林水産事業

Tel：054-205-6070

（担当：紫尾田、二島）